作成日:2013年9月13日
改訂日:2020年5月19日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	:	プラセンタ乾燥末
会社名	:	株式会社 ホルス
住所	:	東京都中野区中野3-3-5
電話番号	:	03-5328-9331
FAX番号	:	03-6735-8950

2. 危険有害性の要約

GHS分類	:	全て「分類できない」、「分類対象外」、「区分外」のいずれかに該当する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の分類 : 単一製品

表示名称	化学名	含有量
豚プラセンタ乾燥末	Dried Placenta	100.0%

危険有害成分 : 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	:	新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	触れた部位を水及び石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	清浄な水で洗眼した後、医師の診断を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗眼する。
飲み込んだ場合	:	水で口の中を洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	:	初期火災には、水・二酸化炭素・粉末などを用いる。 大規模火災には、粉末泡抹消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	:	情報なし
特有の危険有害性	:	情報なし
特有の消火方法	:	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は保護具を着用し、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	:	消火作業では、適切な保護具(手袋、保護眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。
環境に対する注意事項	:	流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などや封じ込め及び浄化の方法・機材	:	少量の場合、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りを雑巾などでよくふき取る。多量の場合、毛布、土嚢などでその流れを止め、安全な場所に導いてから容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
局所排気・全体排気	:	局所排気装置を設置した場所で行う。
注意事項	:	開封後は、使い切ることが望ましい。
安全取扱い注意事項	:	作業場の換気を行い、取り扱い後は手洗い、うがいをする。

保管

技術的対策	:	情報なし
混合接触禁止物質	:	情報なし
適切な保管条件	:	直射日光を避け、冷暗所に保管する。再保管する際は微生物汚染に注意する。
安全な容器・包装材料	:	製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない。
許容濃度		
日本産業衛生学会	:	設定されていない。
ACGIH	:	設定されていない。
設備対策	:	局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具		
呼吸器の保護具	:	マスク
手の保護具	:	保護手袋
眼の保護具	:	保護眼鏡(普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	:	長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色など)	:	淡褐色～褐色の粉末
におい	:	固有な香味がある
沸点	:	データなし
融点	:	データなし
初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
燃焼又は爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
比重(相対密度)	:	データなし
溶解度	:	水に難溶

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の取扱い条件においては、安定である。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件では特にない。
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など)	:	高温多湿、極端に低温な環境
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	情報なし

11.有害性情報

急性毒性	:	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性(単回曝露)	:	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	:	データなし
吸引性呼吸器有害性	:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	:	データなし
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
オゾン層有害性	:	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	:	廃棄する場合、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
容器・包装の処理方法	:	空の容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、廃棄物処理法及び関係法規・法令に遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規則		
陸上輸送	:	該当しない
海上輸送	:	該当しない
航空輸送	:	該当しない
国際法規則		
海上輸送	:	該当しない
航空輸送	:	該当しない

15. 適用法令

消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない

16. その他の情報

引用文献	:	GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。